

2/16 神

## 立民県連

# 参院選 共産と協力せず

## 斎木代表「一線を画す」

立憲民主党県連の斎木武志代表は15日、夏の参院選福井選挙区(改選1)について、「共産党との選挙協力は考えていない。一線を画す」と述べた。立民県連の候補者選びについては、「最終段階の詰めをしていざ」としたが、具体的な候補者は避けた。県庁で行われた立民県連の要望活動後、報道陣の取材に答えた。

共産県委員会は、新人で

党員常任委員の山田和雄氏(54)=福井市=の擁立を発表している。1月の発表会見では、与党に対抗するため立民県連と統一候補の協議をしたいとの考えを示し、共通政策の合意などを条件に候補者を取り下げる可能性もあるとした。

補書調整や政策協定のモデルには着かないことになるとと思う」と述べた。立民の候補者については党本部や支持団体などと調整しているとした。

斎木氏の発言について共産県委員会の南秀一委員長は、福井新聞の取材に「野党候補の一本化が必要という思いは変わらない。最後まで努力を続けていきた」と話した。参院選福井

選挙区を巡っては「のほか、6選を目標とする現職の山崎正昭氏(79)=大野市=が党公認候補に決まって

いる。自民の笛間一彦県議(66)=あわい市=も無所属での出馬を表明している。(島本祥之)